

霜月を迎えて

分所長 高木 敏彦

十一月の声を聴き朝晩の冷え込みが感じられる今日この頃ですが、皆様方にはお元気で過ごしていることと存じます。

先月は教主様をお迎えしての三河本苑秋の大祭を無事終えました。教主様の「指頭書で「不動の信」色紙を大祭記念品として配布されました。

また、本苑設立五十周年誌を更生奉仕金納入世帯に「切り火」を神の家献金納入者に本苑より配布されました。それぞれご確認ください。

さて、この碧南だよりがお手元に届くころには分所の秋の大祭が終える頃ですが、松永特任宣伝使に記念講話をお願いしています。お話の概要を十二月号に掲載したいと思えます。

今年も残すところ二カ月を切りましたが、お体に留意して人型宣教活動にお励みください。

四度目の脳梗塞で

藤浦 直

平成5年4月 この頃の私は、同級生との厄年の行事の打合せや仕事の付き合いで毎週飲み歩いておりました。ある日午前2時頃トイレに行こうと起き、立ち上がろうとしましたが左足がぐらぐらで立つことが出来ず、家内の上に転んでしまいました。家内は動かない足を見て『あつ切れたなっ』と思ったそうです。家内が自宅の隣に住んでいた大塚姉（当時病院の事務）に連絡して救急車の手配をして貰い、新川中央病院へ搬送されましたが、当時当直の先生がイン

ターンの先生で、手術等の事を考慮して安城厚生病院への転送の手配をして下さりました。検査の結果、脳内出血で、二、三日が山です。再出血をすると命の保証も出来ませんと告げられたそうです。家内は、すぐさま本部へのご祈願の申し込みをしてくれたそうです。友人も毎日病院まで来てくれて、お取次ぎをしてくれました。手当の甲斐が有り、二週間位で落ち着いて来たので、碧南市民病院へ転院しリハビリに励みました。最初は全く歩く事も出来なかったのですがまだ42歳の時でしたから必死でリハビリを頑張った記憶が有ります。最初はお酒もそんなに飲みたく無く、二、三か月はお酒も辞めていましたが、暑い夏の日、冷たいビールを飲むとやはり美味しいなあと思う様になりました。これが1回目です。

2回目は、平成19年脳のMRI検査でラクナ梗塞が発見されました。小さな梗塞でしたから、そんなに症状も酷くありませんでした。3回目は平成30年、この時も脳のMRI検査で発見されました。この時は、脳幹に梗塞が有りました。流石に脳幹と言えば大事な箇所なのでお酒は絶対飲まない様にと家内から酷く忠告されました。しかしお酒との縁を全く切ると言う事は出来ませんでした。

家内も段々と、自分の人生だから好きにすればと・・・忠告する事にストレスを感じていたようです。これ幸いと自分もお酒を堂々と又飲みはじめました。自分のローヤルにもお酒を隠して飲んでいました。今年の8月25日朝拝後ご祈願、病氣平癒祈願をさせて頂いている時に、ロレツが回らないし、手で物が掴めなくなりました。家内が血圧を測ってくれたら、上が188下が106といつもより血圧が高い事、ロレツが回って居ない事で、すぐ救急車を手配してくれました。近くの碧南市民病院は、救急の受け入れが出来ないと言う事で、安城厚生病院へと搬送され、精密検査の結果、左脳に脳梗塞が発見されました。左脳の脳梗塞なのでロレツが回って居なかつたんだと思いました。4回目でサブアラ血栓性脳梗塞と診断されました。処置が早かったので、その日のうちに碧南市民病院へ移動、9日間の入院で退院する事が出来ました。入院している間、家内は冷蔵庫の中のビール、カシの中のお酒、全て処分しておりました。（笑）沢山のお陰を頂き、生きている喜びを感じ、言葉も喋れるし歩く事も出来る、只々有難いで一杯です。

主な行事予定

- 十一月二三日(日) 午前10時半より
- 碧南分所秋季大祭・祖霊合同慰霊祭
- 十一月二〇日(日) 午前10時より

三河本苑一二月月次祭・市杵島姫命

大祭・祖霊慰霊大祭 総代会

一二月一一日(日) 午後一時半より

碧南分所月次祭 担当第二班

一二月一八日(日) 午前一〇時より

三河本苑一二月月次祭 全体会議

一二月二四日(土)

万祥殿献勞奉仕

十一月の誕生者

おめでとございます！

杉浦 光和 一日 市古 加奈子 二日 粟津 裕
美 四日 藤浦 直仁 一三日 神谷 亮一郎 一
四日 粟津 夕姫子 一五日 杉浦 剛 一六日
榊原 遼 一七日 蒲生 知典 一八日 樅山 満里
子 二〇日 江坂 芳子 二七日 安藤 かなめ 二八
日 市古 真理子 二九日 小笠原 愛美 三〇日